



経営上のお悩み、相談しませんか？

「よろず支援拠点」は、国が平成26年度から全国に設置している無料の経営相談所です。中小企業の皆様の売上拡大や経営改善等、経営上のあらゆるお悩みに対応します。

相談事例の紹介

資金繰りとITを活用したウエディング事業の立て直し

01 相談のきっかけ



相談者は結婚式場、服飾雑貨店、フラワーショップ、美容院と幅広くビジネスを展開している事業者です。新型コロナウイルスの影響を大きく受け、厳しい環境のなか経営を続けていました。

2022年、コロナ収束後の経営を回復するために当面の資金繰りと新事業展開のための資金調達が必要でした。そこで中小企業団体中央会の紹介を受け、よろず支援拠点を訪れました。

02 現状分析と課題把握



コロナ禍がいつ収束するかわからない中で、銀行からの追加の資金調達は容易でない状況でした。

そこで、最新の国や金融機関の制度を活用すれば対応してもらえる仕組みがあると考え、様々な制度を調査しました。

また、コロナ禍でも安定した売り上げを確保できるサービスがあれば、金融機関への説得材料になると考え、服飾のネット販売に目を付けてその部門を強化することを提案しました。

03 解決策の提案と実施



資金調達のための支援として、経営改善コーディネーターが①事業者に最適な融資制度の提案②融資に必要な書類「コロナ収束後の業績予想」「実現性の高い事業計画書」及び精度の高い資金繰り表の作成と支援を行いました。

また、ネットショップの専門コーディネーターが、①ネットショップの分析②コンテンツとレイアウトの見直しを提案③Instagramのショッピング連携とサイトへの導線づくりのサポートを行いました。

04 支援の成果



メインバンクとの話し合いを踏まえ、資金調達はセーフティネットの認定を取り新規融資を導入することで合意できました。ネット販売においては、Instagramからのアクセス数が4.8倍、売上も2.4倍と上昇傾向に転じました。

コロナ5類移行を経て、実店舗の売上は回復しており、ネット販売上昇と合わせて、早急な経営回復が期待できるようになりました。よろず支援拠点では引き続き、事業管理とネットショップ運営のフォローアップを行っていきます。



相談者の声

コロナ禍の収束も目途が立たず不安が尽きない中、中小企業団体中央会さんによるよろず支援拠点さんを紹介していただきました。各融資制度のメリットやデメリット、資料作成まで丁寧に教えていただき、おかげ様で自社に最適な融資を得ることができました。また、ネットショップに関しても、基本から応用テクニックまで細かくサポートいただき、売上拡大とともにスタッフの自信にも繋がっています。よろず支援拠点さんに相談して良かったです。本当にありがとうございました！



株式会社レ・プリュ

代表者 山縣 慶三
住 所 高知市永国寺町1-33
T E L 088-879-5095

インスタグラム
@les_plus_wedding
@maison_de_lesplus_shop

お問い合わせ・ご相談予約 (公財)高知県産業振興センター内 高知県よろず支援拠点

住 所 〒781-5101 高知市布師田3992番地2 高知県中小企業会館5階

Email yorozu@joho-kochi.or.jp

T E L 088-846-0175

対応時間 8:30~17:15(土日祝日を除く平日)

高知県よろず

検索

